

フキ指導案

キーム四小

青梅第四小学校
授業改善
5年

6月19日(木)3時間目

国語 「練習教材 見立てる (光村図書)【インターネットは冒険だ (1/7)】」

本時のねらい

- ◎文章の構成や展開について理解している。(知識及び技能)
- 説明文の学習に全力参加しようとしている。(学びに向かう力・人間性等)

本時のこだわり

○練習教材を使って説明文の読み方を確認、定着させることで、自信をもって説明文の学習に入れるようにします！

段階	学習活動	指導・支援 (○) 評価 (☆)
導入	1. 説明文について知っていることを確認する。【仕掛け】 C:はじめ・中・終わり C:頭括型・総括型・尾括型 C:問いと答え	○これまでの知識を復習し、練習教材でも活用したいと思えるよう、答えを選択制にするなど仕掛けを取り入れる。
	2. めあて、学習の流れの確認 説明文の読み方を理解しよう。	○学習の見通しをもたせる。
展開	3. 教材文を読む。(範読)	○どんな話であったか簡潔にことばでまとめる。
	4. 2回目読みをする。	○2回目読みを通して、筆者の主張、はじめ・中・終わり、問いと答え、文章の型など、自力で分かるところまで読み深める。
	5. 共有する。【共有化】	○ペア・トリオ→全体の流れで、筆者の主張、はじめ・中・終わり、問いと答え、文章の型などを、根拠をもって伝え合わせる。 ☆説明文の学習に全力参加することができている。 (観察・発言)
展開	6. 教材文の構成を確かめる。	○既習事項を基に、構成を読み解かせるような発問をする。 ○「序論・本論・結論」の言葉や、「まとめから事例を読む」ことなど、新しい説明文の読み方を押さえる。
	7. 要旨をまとめる。	○要旨をまとめる良さを実感させるような仕掛けを取り入れることで児童の「考えたい」を高める。 ○筆者の主張と内容の事柄の中心が要旨であること、まとめ部分から要旨を作成することを押さえる。 ☆文章の構成や展開について理解できている。(観察・記述)
まとめ	8. 振り返り	○説明文の読み方を復習したことで、これから始まる5年生の説明文に自信をもって取り組めるよう、期待をもたせるような言葉掛けをする。

